

お見舞い

3月11日に発生した東日本大震災は、広域にわたって想像を絶する甚大な被害を及ぼしました。

多くの尊い命が失われてしまったことに謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

地震・津波により同胞・町・自然・文化が壊滅的な打撃を受け、原子力災害も同時に発生している様子を知るたびに、職員一同、心を締め付けられる思いでおります。

今なお続く余震と寒さの中、厳しい避難生活を余儀なくされている皆様、原子力災害も含めて現地救援のために尽力されている皆様に、一日でも早く心穏やかに過ごせる日が訪れますよう切に願うとともに、海谷眼科グループとしてもできる限りの支援協力をさせていただき所存でございます。

まずは職員・患者様に義援金募金をお願いするとともに、医師会と共同して医療機関として医薬品の送付・眼科治療を必要とする方の受け入れを行なっていく体制を整えております。特に被災された方々の保険証なし・窓口負担金猶予・免除での診療、目に対する放射能汚染の対応について、すでに情報をグループ全体で共有いたしております。また、ソーシャルワーカー等各種団体からの依頼に対しても、電話による医療相談等、協力できることは積極的に対応させていただきます。

この国難に対してすでに多くの国民・団体・企業等が立ち上がり始めておりますが、海谷眼科グループもその一員として微力ながら全力で対応させていただきます。

